

映画 「日本と原発」

製作・監督:河合弘之 構成・監修:海渡雄一 制作協力:木村結 音楽:新垣隆
脚本・編集・監督補:拝身風太郎 制作:Kプロジェクト

■お話をうかがった方々:

青木秀樹 アナトリー・チュマク 飯田哲也 エフゲーニャ・ステパノワ
大島堅一 川口登 小出裕章 コンスタンティン・ロガノフスキー
古賀茂明 鈴木大介 高野仁久 田中三彦 馬場有 (敬称略)

※この映画は、原発についての報道・広報に対する批判的検討をも目的としています。

私たちは原発で幸せですか?

写真:浪江町/2014.09月撮影 ©Kプロジェクト

**これ1本で原発を取り巻くすべての問題を提起します。
映画鑑賞後、ご自身でご判断ください。**

有名企業を取り巻く多くの裁判で勝ち続け
辣腕弁護士と呼ばれた河合弘之。

しかし、河合の人生後半戦の一大事業と位置付けた原発訴訟は、
負け続けだった。

何年経っても、どんなに方法論を工夫しても、勝てなかった。
逆襲弁護士と呼ばれるタフな河合だが、
負け続ける原発訴訟にその闘志は弱まっていた。

そして、2011年3月11日。
東京電力福島第一原子力発電所で
原子力発電史上最悪の事故が起きた。
河合は決心した。「絶対にあきらめない」。

これは、弁護士河合弘之と盟友弁護士海渡雄一、訴訟を共に闘
う木村結の3人が、多くの関係者、有識者にインタビュー取材
を行い、現地での情報収集や報道資料等を基に、事故に巻き込
まれた人々の苦しみ、原発事故を引き起こした背景、改善され
ない規制基準、エネルギー政策のウソと真実を追求したドキュ
メンタリーである。

「裁判はたったひとりでも正義をかけて闘える民主主義社会の
安全弁みたいなものだ。だから、僕はひとりでも闘う。でも、
それだけじゃ、みんなに伝わらない。ひとりでも多くの人に真
実を伝えるには、やはり、映画しかない」(河合弘之)。



詳しくはwebで <http://www.nihontogenpatsu.com>

2015年7月4日(土)~7月10日(金)

フォーラム八戸

前売券: 800円

(フォーラム八戸、八戸市内のプレイガイドで販売しています。)

(当日券は、フォーラム八戸の鑑賞料金になります。)

上映時間はフォーラム八戸のホームページか、ご鑑賞当日のデーリー東北
紙の映画案内欄にてご確認ください。

主催:核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団(0178-47-2321)

会場:フォーラム八戸(TEL:0178-71-1555)

※受付の際、駐車券をご提示ください



チーノはちのへ5階

P1 4時間無料券発行

P2,3,4,5 3時間無料券発行